



COP26における非国家アクター： 日本の機関投資家が世界へ躍進

WWFジャパン
気候・エネルギーグループ（非国家アクター連携担当）
田中 健

2021年12月1日（水）

COP26会場のいたるところで非国家アクターが活動



非国家アクターをテーマにしたハイレベルセッション



COP26カバー決定「グラスゴー気候合意」より抜粋：

**55. 条約の目的およびパリ協定の目標に向けた進展に貢献する上で、市民社会、先住民、地域コミュニティ、若者、子ども、地方・地域政府や他のステークホルダーを含む、
締約国以外のステークホルダーが果たす重要な役割を認識する。**



COPにおける非国家アクターの関わり

2014 2015 2016 2017 2018 2019 2020 2021 2025

COP20 COP21 COP22 COP23 COP24 COP25 COP26

リマ・パリ行動
アジェンダ

非国家アクターの
後押しを本格的に

ハイレベル気候行動チャンピオン



COP25決定

2025年まで延長

COP21決定で
2016-2020に指名

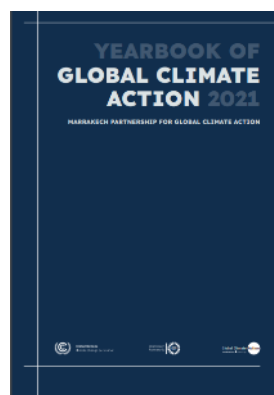
世界的な気候行動のためのマラケシュパートナーシップ

ハイレベルチャン
ピオンによる方針

改善された世界的な気候行動
のためのマラケシュパート
ナーシップ



NAZCA



Yearbook



Climate Ambition Alliance



Race To Zero



1.5°C目標を目指す非国家アクターが集結したRace To Zero



ナイジェル・トッピング



ゴンザロ・ムニョス



2030年までに排出を半減し、2050年までに健全で公正なゼロカーボンの世界を作り出すため、直ちに行動を起こすことを誓約した、世界中の企業や自治体、投資家、教育機関などの非国家アクターが参加する国際キャンペーン。ハイレベル気候行動チャンピオンのナイジェル・トッピング氏とゴンザロ・ムニョス氏がリード。

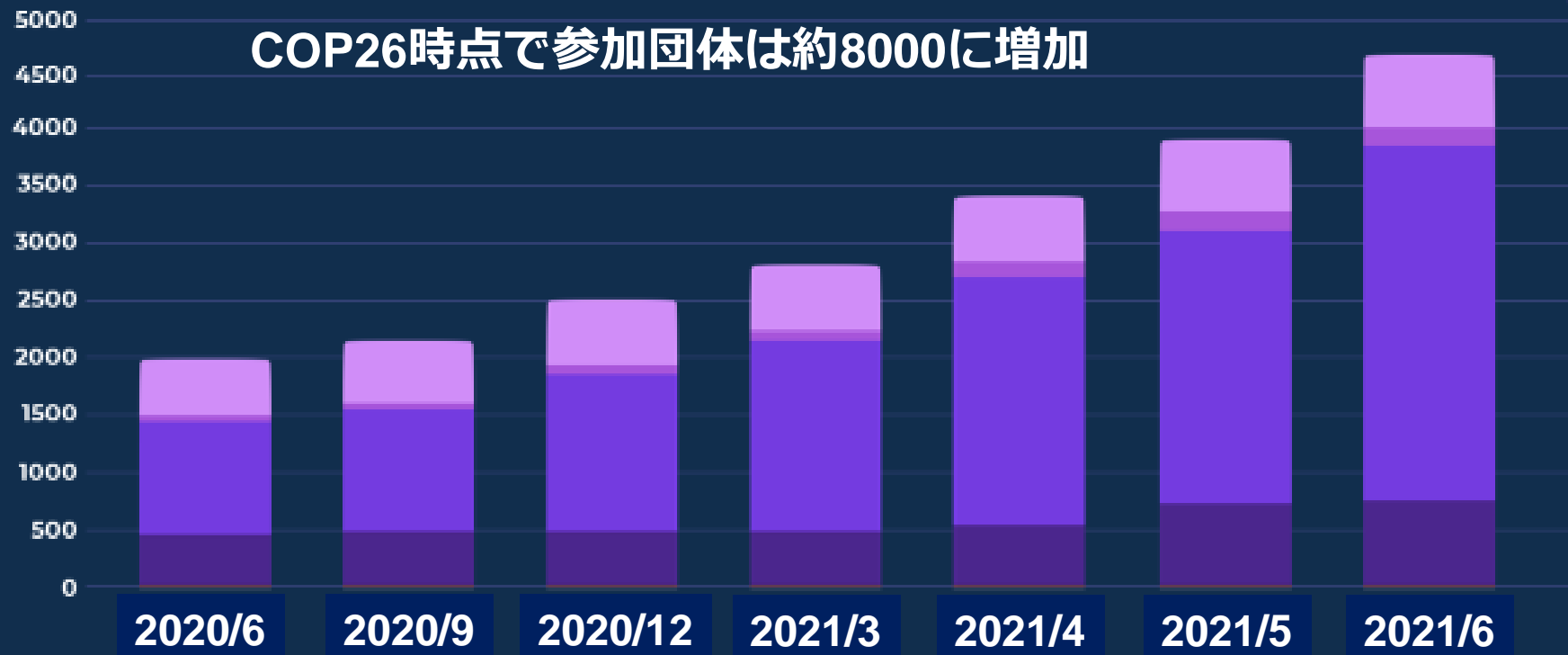
出典：COP26 Climate Champions Team/駐日英国大使館資料より加工



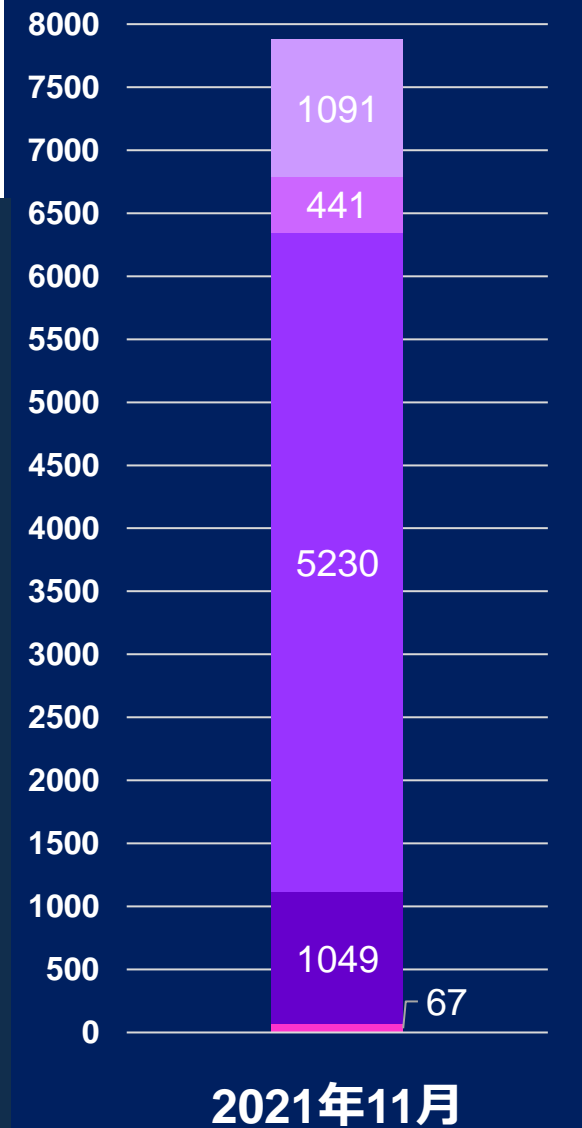
Race To Zeroに参加する非国家アクターの増加

参加団体数の推移

COP26時点で参加団体は約8000に増加



組織 投資機関 企業 都市 地域



出典：COP26 Climate Champions Team資料より抜粋、WWFジャパン加工



GFANZと日本の機関投資家の躍進

Glasgow Financial Alliance for Net Zero (GFANZ)

ネット・ゼロに関する7つの金融イニシアティブの連合体。世界の金融機関のネット・ゼロへの移行を加速するために作られ、COP26時点で45カ国の450社以上の金融機関が参加。その資産規模は130兆ドル（約1京4800兆円）を超える。Race To Zeroとも連携。プリンシパルグループのアジア代表として第一生命保険が参画。

イニシアティブ名	署名数 ()は設立時	資産額 (兆ドル)	日本 企業数
Net-Zero Banking Alliance (NZBA)	95 (43)	66	6
Net Zero Asset Managers initiative (NZAM)	220 (30)	57	9
Net-Zero Asset Owner Alliance	61 (12)	10	4
Paris Aligned Investment Initiative (PAII)	51	2.9	0
Net-Zero Insurance Alliance(NZIA)	15	-	0
Net Zero Financial Service Providers Alliance (NZFSPA)	23	-	0
Net Zero Investment Consultants Initiative (NZICI)	12	10	0

数は各ウェブサイト等から調査。2021年11月25日時点



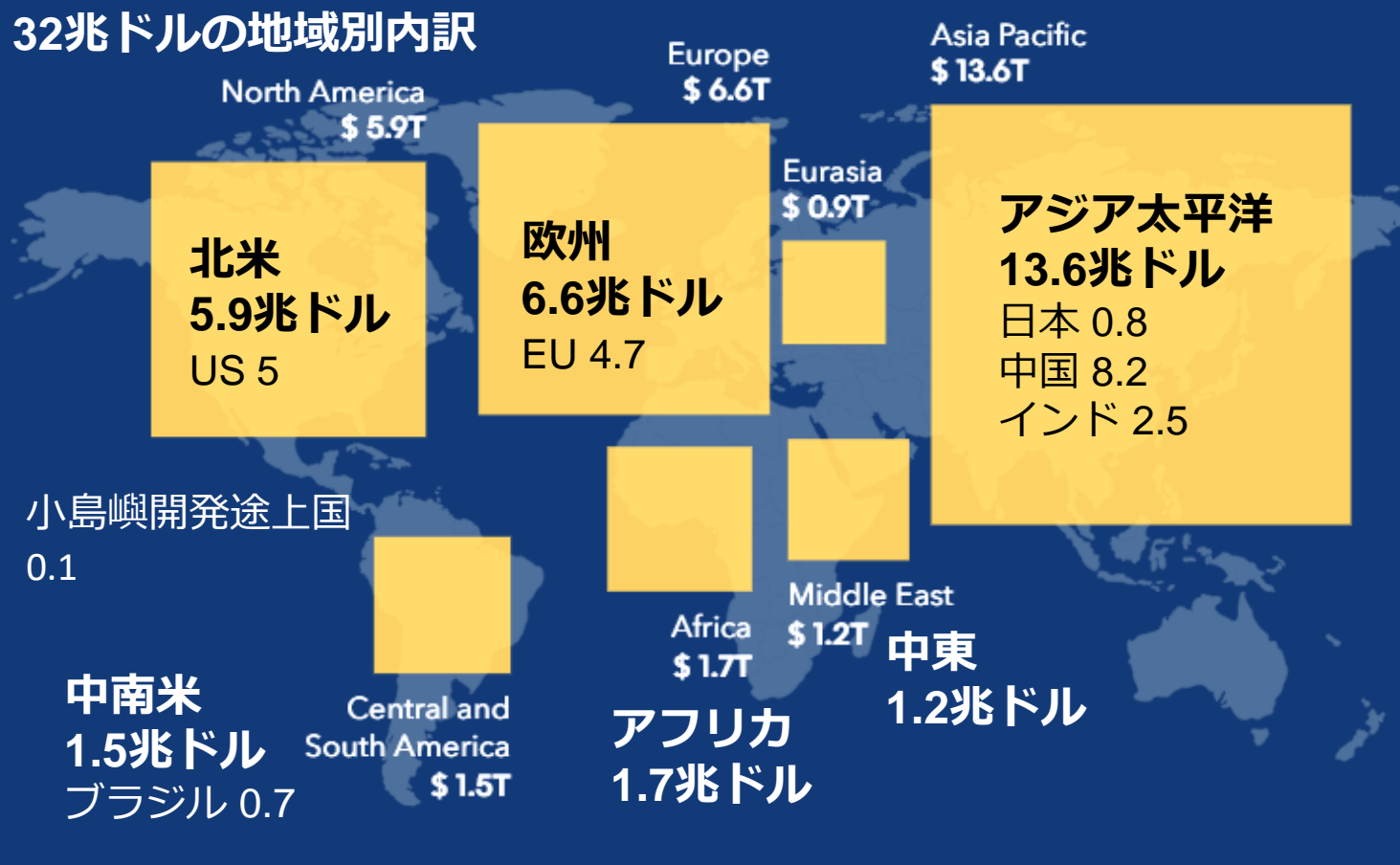
GFANZが発表したネット・ゼロへのロードマップ

2050年ネット・ゼロのために必要な投資額：**125兆ドル**

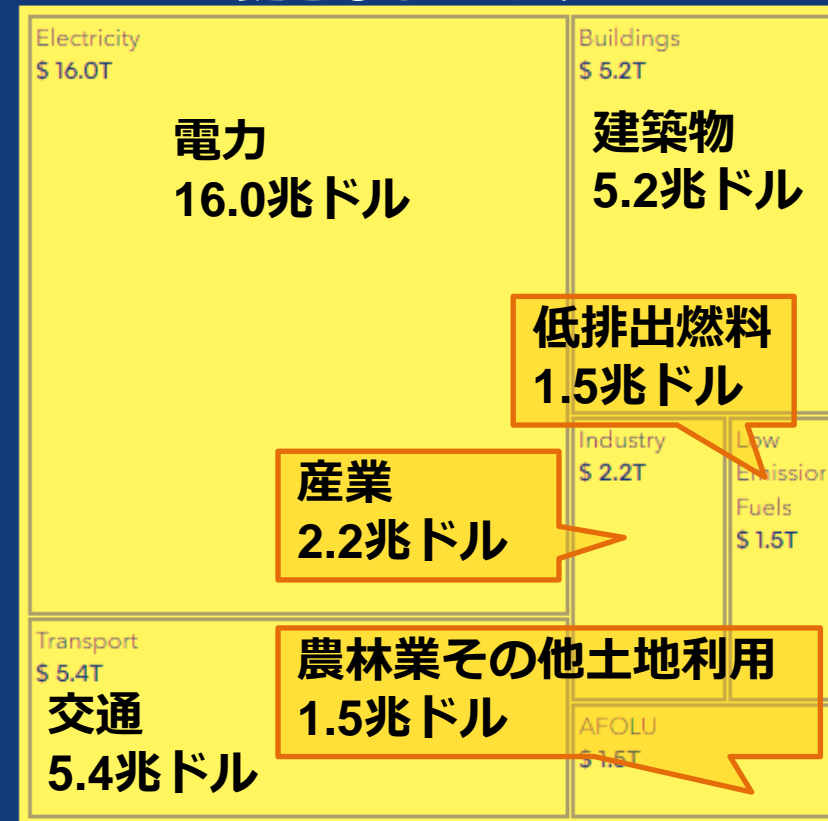
うち2021年~2030年までに必要な投資額：**32兆ドル**

2021-2025年に必要な脱炭素への投資額：**2016-2020年の3倍** →70%は民間投資に可能性

32兆ドルの地域別内訳



32 trillion 鍵となる6セクター





森林破壊をなくす取組みにも

30以上の金融機関・総運用資産8.7兆ドル以上が賛同

森林破壊を招く パーム油、大豆、牛肉、皮革、パルプ、紙等の農産物の生産に関連する投資を 2025 年までに無くす取組みを強化すると約束

✓ 2022年までに「リスク評価と方針策定」

事業における森林破壊リスク評価、リスクに対処するための投資・融資方針の確立、顧客やサプライチェーンへの関与、政策への関与

✓ 2023年までに「ポートフォリオ開示」

ポートフォリオにおける森林破壊リスクおよび緩和活動の開示

✓ 2025年までに「進捗公開と森林破壊をしない投融資の実施」

進捗状況の公開、リスク削減基準を満たした顧客のみへの融資、自然を利用したソリューションへの投資増加



日本の非国家アクターイニシアティブ：JCI

気候変動イニシアティブ（Japan Climate Initiative: JCI）

パリ協定が掲げる脱炭素社会の実現に向け、気候変動対策に積極的に取り組む企業、自治体、NGOなどの非政府アクター674団体が参加する国内ネットワーク



- ✓ 日本の非国家アクターの国際認知
- ✓ 政府への発信
- ✓ 国際動向への関与と刺激





非国家アクターイニシアティブの広がり

気候行動連盟（Alliances for Climate Action: ACA）

非国家アクターイニシアティブの国際連盟。日本のJCIを含む9か国が参加。



ACA主催イベントにはJCIメンバー企業が登壇



Alianza para la
Acción
Climática
Argentina





まとめ

- COPにおける非国家アクターの存在感は増加。気候危機への関心の高まりは、1.5°C目標の誓約から即時の行動へと動き始めている
- 世界の金融機関、投資機関が1.5°C目標を実現するためのポートフォリオづくりへと動き始めている
- また、気候変動対策の中で、単なる削減策だけでなく、森林破壊・土地劣化、生物多様性保全への取組みも広がってきている



ご清聴ありがとうございました

これからもご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます

気候マーチには5万人が参加





Race To Zeroのねらい

パートナー

非政府アクターの1.5°C目標を支援する組織やイニシアティブ



各国NDCの強化
COP26
2021年11月@イギリス・グラスゴー



目標実現の後押し



政府目標引き上げプッシュ



非政府アクターの1.5°C目標を達成する取り組みを一同に集結





5か年プランの全体像

Unique role (WHO) Encourage NPS to accelerate climate action and enhance ambition, which will support national governments to reach the goals of the Paris Agreement; be one of the formal links of NPS with the UNFCCC process; and promote a new "inclusive multilateralism".

Mandate (WHY)

Enhancing ambition and urgency

Converging NPS

Bridging (Party-NPS)

Key functions (WHAT)

MOBILIZE & ALIGN NPS TO MAXIMIZE AMBITION

SUPPORT NPS TO DRIVE SYSTEMS TRANSFORMATION

STRENGTHEN COLLABORATION BETWEEN NATIONAL GOVERNMENTS & NPS

BROADEN & DEEPEN ENGAGEMENT GLOBALLY, WITH FOCUS ON DEVELOPING COUNTRY STAKEHOLDERS

TRACK PROGRESS & ENHANCE TRANSPARENCY & CREDIBILITY of NPS

BUILD A SHARED NARRATIVE FOR THE DECISIVE DECADE OF CLIMATE ACTION

Tools (HOW)

- Race to Zero
- Race to Resilience
- GFANZ

- 1.5° Climate Action Sectoral Pathways
- 2030 Breakthroughs

- Engagement of national governments in pathways, breakthroughs & campaigns
- Multi stakeholder dialogues
- Implementation Labs
- Support Global Stocktake

- Regional Climate Weeks
- Regional Hubs
- Strengthen HLC's team at UNFCCC RCCs
- Strengthen ACAs

- Accountability mechanisms for global campaigns
- Yearbook
- Systems Change LAB
- CAMDA
- GCAP under UNFCCC secretariat

- Communication Strategy
- Citizen campaigns
- Civil society engagement
- RtZ /RtR Ambassadors